

平成 19 年 2 月 6 日



「電子レンジ加熱式湯たんぽ」の試買テスト結果について（注意喚起）

独立行政法人 製品評価技術基盤機構（本部：東京、理事長：御園生 誠、略称：n i t e（ナイト））は、「電子レンジ加熱式湯たんぽ」の試買テストを行った結果、当該製品を使用するに当たって、表示に従わずに過剰な加熱を行いますと、火傷の恐れがあることが判明しました。このため、事故防止の観点から、別紙のとおり事故情報特記ニュースを公表し注意喚起を行うものです。

n i t e はこのたび電子レンジ加熱式湯たんぽの試買テストを行い、これらの製品の安全性を調査しました。

具体的には、現在、市場で販売されている電子レンジ加熱式湯たんぽを 14 銘柄購入し、(1) 取扱い表示どおりの加熱、及び(2) 取扱い表示よりも過剰な加熱（温かいうちの再加熱、過剰なレンジ出力での加熱及び長時間の加熱）テスト、また、取扱い注意事項の表示状況について調査を行いました。

テストの結果、取扱い表示どおり加熱した場合は、一部の製品で表面が部分的に高温となりレンジから取り出す時に注意が必要なものもありましたが、容器破裂による火傷の恐れはないことが確認されました。一方、取扱い表示より過剰な加熱を行うと、加熱終了直後又は加熱中に破損又は破裂し、高温の内容物が漏れだしたり、飛散するものがあることが確認されました。このときの内容物の温度は、ジェル状及び液状のものは、約 100℃、固形状のものは液化し、200℃以上にも達します。

このように、過剰な加熱を行うと、破損又は破裂する恐れがあり、その際、袋等の外に出た内容物は高温のため、人体に触れると重篤な火傷となる可能性があることから、注意を促すため、「事故情報特記ニュース」を発行するものです。

なお、本日午後 3 時から、独立行政法人製品評価技術基盤機構（東京：地図別添）のナイトスクエア（一階）において、記者ブリーフィングを行います。当日は、テストの時の映像とテストした製品の一部をご覧頂けるよう準備しております。

（記者ブリーフィングのお問い合わせ先）

製品評価技術基盤機構 生活・福祉技術センター 計画課

電 話：03-3481-6566

（記者ブリーフィング後の本発表資料のお問い合わせ先）

製品評価技術基盤機構 生活・福祉技術センター 製品安全企画課

電 話：06-6942-1113

製品評価技術基盤機構 生活・福祉技術センター 製品安全技術課

電 話：06-6942-1114

（担当者：下川、竹内）